

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21106	中国語 Chinese language	邱 靖媚		共通	1	選択	1前期
科目の概要							
発音記号（PINYIN）と声調（四声）の練習（8句の三字経節録）から中国語の授業が始まる。 ・中華圏の文化と社会に触れながら授業を進める。 ・中国及び世界の華人社会、文化、習慣などを理解しようというきっかけになる。 この授業では中国語を修得する中で自己研鑽し、国際社会に貢献できる人材を育成する。							
学修内容				到達目標			
① 中国語発音の仕方、四声の区別と簡体字を認識する。 ② シチュエーションによつての日常会話と挨拶する。 ③ 発音記号PINYINにより朗読する。 ④ 基本文型により作文をする。 ⑤ 自分の作文を発表する				① PINYINの仕方と四声をマスターすることができる。 ② 日常会話と簡単な挨拶ができるようにすることができる。 ③ 8句の三字経節録を朗読することができる。 ④ 基礎的な文法を利用し、「自己紹介」の文章を5センテンス以上を作成することができる。 ⑤ 自分の言葉で中国語の「発表」をすることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業を通して、練習方法を見つけます。受け身ではなく、積極的に授業参加し、自ら通常点を獲得できる。練習の時、常に口をあけて、会話力を身に着ける。方法がゲットできれば、自ら練習をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	・目標を達成するために、間違いを恐れず、練習のプランを立て、行動する。 ・練習の方法、習慣により、言葉の新しい表現が生まれ、目標を達成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	自らの会話力を冷静に判断し、上達する方法を仲間と一緒に練習し、改善することができる。					
	計画力						
	創造力	コミュニケーションの時、相手に何を伝えたい、言い換えることによって、言いたいことを表現できる。					
チームで働く力	発信力	練習によって質問ができ、得意と苦手の部分を自ら克服する方法を見つけることができる。					
	傾聴力	改善また上手になるため、教員の説明、また仲間のアドバイスを聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：「好朋友初めての中国語」郭明輝 朝日出版社 ・ISBN:978-4-255-45356-9(¥2420税込み) ・参考文献：キクタン（入門編）アルク出版 							
他科目との関連、資格との関連							
特にありません。							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語はコミュニケーションツールの一つに過ぎない、 ・ツールが多ければ多いほど競争に勝ち抜く武器にもなる。 ・友達との付き合いの楽しみが増えるし、理解も深まる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、口を開けて、声を出して、 ・先生、クラスの仲間達と一緒に練習しながら、自分にとって最適な学習方法を見つけよう。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 漢字（繁体字、簡体字と日本漢字）の区別、そして発音記号、基礎文法を正確に表現できること。 短いフレーズの正確に応用表現できること。 シチュエーションによつての簡単な中国語応答できること。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	口頭発表について： <ul style="list-style-type: none"> 授業中練習してきた中国語の単語、文法、フレーズを応用して、自ら作文。 声の大きさ、発音、声調（四声）と言葉の正確さによつて成績を判断する。 「自己紹介」を発表する。それとも 「三字経8句」を発表する。 （全て暗記の形で発表する）	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）正しい発音を習得するために、間違いを恐れず、大きな声で練習する。 （実行力）目標のために、学修プランを立て最後までやりきることができる。 （課題発見力）口をあげて練習し、見極めることができる。 （創造力）コミュニケーションを取るために言い換えることによつて表現する。 （発信力）自己紹介の発表によつて、言いたいことを見つめる。 （傾聴力）正しい発音方法をゲットするために、一人ではなく教員と共に、仲間のアドバイスを聞き取ることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①積極的に授業に参加し、欠席、遅刻の理由報告する。 ②自己紹介の発表、三字経の朗読（声の大きさ、発音と四声正しく）、 ③質問に対して積極的に答える。 ④筆記試験の判断する。 ①②③④到達する人が（秀）の成績を獲得できる ②③④到達する人が（優）の成績を獲得できる	①積極的に授業に参加する。 ②自己紹介の発表（声の大きさ、発音と四声）。 ③自己紹介の発表。 ④筆記試験の判断。 ①②④到達するの人が（良）の成績を獲得できる ①③④到達するの人が（可）の成績を獲得できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<中国と中国語> 発音編1 1. 中国語のピンインと四声を理解する。 2. 母音の種類を把握し、マスターする。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 中国語の声調 2. 母音	60	主体性 規律性
2	<中国と中国語> 発音編2 1. 中国語の子音を理解する。 2. 声調記号をマスターする。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 中国語の子音 2. 声調記号を付ける位置を確認すること。 (数字+よく使うフレーズ暗記 p 17)	60	主体性 規律性
3	<よく使うフレーズ> 小テスト☆1 第1課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 人称代名詞と指示代名詞の導入	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・自己紹介と友たちらにしたいという意思表示ができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題の完成すること。	60	主体性 課題発見力 規律性
4	1. L1本文のペアワーク 2. 練習問題	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	60	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5	第2課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 形容詞の述語文	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・趣味について話すことができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題の完成すること。 (趣味の関連語句暗記 p 25)	60	主体性 傾聴力 規律性
6	<趣味の関連語句>小テスト☆2 1. L2本文のペアワーク 2. 練習問題	趣味の関連語句小テスト☆2のプリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	60	主体性 課題発見力 規律性
7	第3課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 所有を表す「有」	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・家族構成について話すことができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 「何人家族ですか」？ / 「何人兄弟ですか」？ ★練習問題の完成すること。 (親族の名称暗記 p 31)	60	主体性 傾聴力 規律性
8	<親族の名称>小テスト☆3 1. L3本文のペアワーク 2. 練習問題	親族の名称小テスト☆3のプリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	60	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第5課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 選択疑問文/反復疑問文	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・できること、できないことについて表現することができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題の完成すること。	60	主体性 傾聴力 規律性
10	1. L5本文のペアワーク 2. 練習問題	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	60	主体性 傾聴力 規律性
11	第7課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 場所の確定表現	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・場所を尋ねることと道案内をすることができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ・一日/一週間の区分 ★練習問題の完成 (p 48, 49練習問題5の復習)	60	主体性 課題発見力 規律性
12	<練習問題5>小テスト☆4 1. L7本文のペアワーク 2. 練習問題	・練習問題5小テスト☆4のプリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ <自己紹介>の文を作成すること。	60	主体性 創造力 発信力 規律性
13	・「自己紹介」の文を仕上げます。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・5句以上の作文を完成するよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 自己紹介の文を完成すること。	60	主体性 実行力 創造力 規律性
14	<自己紹介>を発表する。☆5	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・自己紹介の発表。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	60	主体性 実行力 規律性
15	期末試験の準備と復習	期末試験の準備と復習のプリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<復習120分> 期末試験の準備と復習すること。	60	主体性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力